

初春の奥武蔵 飯盛山で眺望を楽しむ

2023.03.15 ハイキング同好会 服部

NHK TV 夕方の番組で、越生にある飯盛山頂の眺望が改善され、八ヶ岳が見えることが初めて確認されたと、白銀に輝く八ヶ岳山容の映像付きで放送された。奥武蔵の山々から八ヶ岳が見えるとは、これはぜひハイキング同好会で試してみようと、さっそく飯盛山の位置とアクセスをネットで調べる。816mの飯盛山はすぐ見つけられるが、アクセス方法がなかなかわからない。しかし、無料の越生あじさい公園駐車場から飯盛山を登るルートが見つかった。それで3月の月例ハイキングとしていつもの仲間に提案する。

2023年3月14日(火) 9時 あじさい公園駐車場(無料、トイレあり)に2台の車に分乗して集合する。9:15 駐車場を出発、11:00 ほぼ予定通りに野末張見晴台に着く。ここの眺望はすばらしく西に上越国境の白く輝く山々や北に赤城山塊が見える。北東にある日光白根山-男体山は霧で確認が難しいが、筑波山はぼんやりと、東方のスカイツリーもなんとなく見える。南南西の西武ドームも確認できる。こんなに視界が開けた場所はありません。

そしてこの場所の標高はスカイツリーと同じ634m。しばし眺望を楽しみ、飯盛山を目指す。実は国土地理院の地図には「飯盛山(816.3m)」があるが今回の目的地の「飯盛山(795.2m)」はそこから300mほど南の別のピークだ。地図にはこのピークに名前がつけられていない。ややこしい。



まず12:00 地図に記載されている飯盛山に登頂。近くの立ち木の枝が視野の邪魔をし、また、少し霞んで八ヶ岳はほとんど視認できない。山頂で記念写真を撮り、飯盛峠の近くの林の中の陽だまりで昼食を摂る。



昼食後、越生 飯盛山に登る。やはり、霞んでいてハケ岳の山容を確認することは難しい。別の日に撮った画像を掲載する。

奥に見える白い山並みがハケ岳。左端の斜面は武甲山の石灰岩石切場



実はここまで登ってくる途中で「はがさん」の道標を見つけていた。えっ「はがさん？」実は漢字で「羽賀山」。ここには寄らなければ「はがさん」に失礼になる。「羽賀山」経由で下山する。しかし結局登頂せず巻き道をとってしまった。ただ、その山頂には立派な針葉樹の植わった山だったことを付記しておく。(注：羽賀山は、正しくは「はがやま」と読みます。)

初春の風のない、しかしスギ花粉まみれのハイキング日和を堪能した1日だった。筆者は下山時には鼻水が止まらず帰ってから目がかゆくて、しばらく外を出歩くことは控えなければいけないと思わせる一日になった。



3月30日に予定していた「東川 桜花見」は開花が早まり、日程調整中。
4月の月例ハイクは日程・行き先とも未定。いつになったら花粉の飛散は収まるのだろうか。

ルートマップ



行程(3月14日 (火))

9:15 あじさい公園駐車場 — 11:00 野末張見晴台 11:10 — 12:00 飯盛山
(816.4m) — 昼食 — (越生) 飯盛山 13:00 — 野末張見晴台 13:30 — 15:
10 駐車場

(服部は別の日に、ほぼ同じルートで登っている。一部の写真はその時のもの。)

以上